

地域・社会共生活動

当社グループの人やノウハウを活用した活動を行い、
地域・社会の持続的な発展に貢献します。

2014年度の主な取組み内容

- ▶ **地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み** P66~70
 - 出前授業やエコ・マザー活動を通じて、エネルギー・環境問題への関心喚起を中心とした次世代層育成の取組みを行いました。
 - 地域の課題解決を目的として、産官学で連携して行う地域プロジェクト等に参画し、当社のノウハウや知見を活用し、積極的な協力を行いました。
 - 地域に密着した事業形態を活かして、高齢者等の地域見守り活動や子ども110番活動への協力に取り組みました。
- ▶ **九州各地における地域の皆さまとのボランティア活動** P71~76
 - 2014年度から、NPOや地域の方々と協力してボランティア活動に取り組む「こらぼらQでん」を開始しました。
 - 「こらぼらQでん」以外にも、当社及びグループ会社と一体となって、地域ニーズや課題に応じたボランティア活動を実施しました。

2015年度の主な行動計画

- ▶ **地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み**
 - エコ・マザー活動などの次世代層育成の取組みについて、関係者からの評価が高いため、引き続き教育機関等と連携しながら、エネルギー・環境教育を展開していきます。
 - 地域経済振興について、グループ会社の経営資源の活用や、社外専門家との協働による地域活性化策の検討など、地域ニーズに沿った取組みを実施していきます。
 - 地域共生活動全体について、全社一体となって実施する重点取組みの制定や、地域ニーズへの対応が不十分な活動の見直しなど、今後の活動のあり方を検討していきます。
- ▶ **九州各地における地域の皆さまとのボランティア活動**
 - ボランティア活動を通じて、地域の皆さまとの接点を増やすことはできましたが、今後、更に取組みを充実させ、地域の皆さまとの信頼関係を深めるとともに、活動回数や参加者を増やし幅広く展開していくことが必要です。
そのため、地域主催の活動への参加や新たな活動を実施するとともに、グループ一体となった取組みの推進や幅広い方々の活動への参加の呼びかけなど、積極的に展開していきます。

地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み

地域・社会共生活動基本方針

当社は創業以来、地域社会の発展と地域との信頼関係が当社の持続的発展の基盤であるとの認識の下、2006年4月に活動を行ううえでの指針として「地域・社会共生活動基本方針」を制定し、さまざまな地域・社会共生活動に取り組んできました。

地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、以下の原則に基づき、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します。

- 1 「地域振興」「文化・芸術」「スポーツ」「学術・教育」「社会福祉」「健康・医療」「国際交流」「環境保全」の分野で、魅力ある地域づくりや次世代層の育成などを行うとともに、地域・社会の課題解決に向けた取組みを行います。
- 2 当社の持つ経営資源を有効に活用した取組みを行います。
- 3 活動内容を公表し、皆さまとコミュニケーションを図ることにより、その声を諸活動に反映させるとともに、地域・社会の皆さまとの協働を進めます。
- 4 従業員が一市民として行う共生活動を支援します。

2006年7月制定

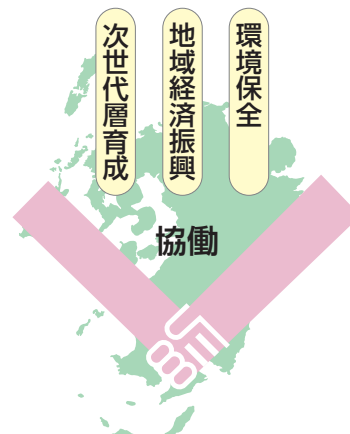
グループの経営資源を活用した

地域との協働による地域・社会共生活動の推進

当社は、地域・社会共生活動を通じた持続可能な社会づくりに貢献するため、「次世代層育成」「地域経済振興」「環境保全」の分野を中心に、さまざまな活動を展開しています。

活動に際しては、地域の課題を的確に把握するとともに、地域と共に考え、共に行動する「協働」による取組みを通じたコミュニケーションを推進し、地域の課題解決に向けて地域の皆さまと一緒に取り組むこととしています。

今後は、特に、当社グループのヒトやノウハウ等を活用した地域・社会共生活動を推進することとしており、「こらぼらQでん(P73～75)」を始め、地域の皆さまとの協働によるボランティア活動等に、グループ一体となって取り組み、地域とともに発展することを目指します。



次世代層の育成

持続可能な社会をつくるのは「人」であるとの認識のもと、次代の九州を担う子どもたちの可能性拡大や、能力向上への貢献を目的とし、エネルギー・環境問題への関心喚起を中心とした次世代層育成の取組みを展開しています。

～次世代層支援プロジェクト「九電みらいの学校」～

九州の子どもたちに、エネルギー・環境や文化・芸術等に関する学びや出会いの場を提供し、子どもたちの好奇心を刺激するとともに感性を豊かにすることを目的に、九州各地で様々な活動を展開しています。



◎ 出前授業

小学校高学年から中学生を対象として、当社社員等が講師となって学校で授業を行う「出前授業」に取り組んでいます。

「電気をつくる仕組み」や「省エネ」など、4つのテーマについて、見て、ふれて、体験しながら、エネルギーに関する生きた知識を、子どもたちに身につけてもらっています。

2014年度は、計366回、約15,000名の子どもたちに学んでもらうことができました。

◎ エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的とする「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動は、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、小さなお子さまに環境への配慮の大切さを伝えています。

2014年度までの12年間に計2,800回以上実施し、およそ20万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

◎ 運動部によるスポーツ教室

当社の「シンボルスポーツ」と位置づけるラグビー部「キューデンヴォルテクス」では、地域の皆さまから愛され、親しまれるチーム作りを行うとともに、各地域の少年ラグビーチーム等への指導やイベントへの参加など、ラグビーを通じた地域スポーツの活性化に取り組んでいます。2014年度は、11,000名以上の皆さまにご参加いただきました。

また、バスケットボール部「九州電力アーティサンズ」でも、バスケットボール教室を開催しているほか、「柔道部」や「テニス部」などでも、スポーツを通じて、地域の子どもの育成に取り組んでいます。



出前授業



エコ・マザー活動



ラグビー教室(宮崎県延岡市)

地域経済振興への協力

地域の課題解決を目的として産学官で連携して行う地域プロジェクト等に対し、当社のノウハウや知見を活用し、積極的に協力しています。また、各支社においては、自治体等との協働によるまちづくりなどの地域活性化策の検討や、地域に根ざした伝統工芸産業の支援など、さまざまな取組みを展開しています。

産官学で連携して行う地域プロジェクト

◎「浮羽まると博物館協議会」(福岡県うきは市)

橋詰発電所(1921年竣工)をはじめ3つの水力発電所が立地するうきは市では、地域住民の皆さま、うきは市、九州大学及び当社との4者間において、まちづくり推進に向けた協力協定を締結し、歴史的な建物の活かし方を検討するなど、技術協力を行っています。

また、同地域で発生した九州北部豪雨災害により被

災した発電所流域の棚田の復旧ボランティアも行っています。(ボランティアの様子は、下の「社員の思い」をご覧ください。)



地域の方々とのまちづくりワークショップ

◎ 嬉野温泉駅周辺まちづくりアドバイザー業務 (佐賀県嬉野市)

嬉野市におけるまちづくりプロジェクトでは、九州新幹線西九州ルート整備にあわせ、駅前と中心市街地が担う機能の検討や官民協働事業の有効性評価など、まちづくりに関する技術支援・コンサルティングを行っています。

また、2015年2月に発足したまちづくり委員会におい

て、県・市職員、大学教授、観光専門家、鉄道・バス事業者および地元住民の皆さまとともに、産官学民の協働による新たな地域価値向上を考えています。



産官学民の連携によるまちづくり委員会

支社における自治体等との協働によるまちづくりの例

◎「まちぶらプロジェクト」への参画 (長崎支社)

長崎支社は、長崎市と地域の皆さまが、まちを守り、育て、創る「まちぶらプロジェクト」に参画しています。このプロジェクトは、県庁移転や長崎駅周辺の再開発と長崎の中心地域の活性化を連携させ、長崎の特色を活かしたにぎわい作りを推進するものであり、当社は、社員をボランティアスタッフとして派遣しています。

2015年1~2月に行われた「まちあかり灯籠事業」では、国の重要文化財を持つ興福寺など、多くの寺院が

集まる長崎市寺町地区を、竹灯籠でライトアップしました。この活動は、「ずっと先まで、明るくしたい。」という九州電力の思いを体現する取組みでもあり、当社からは灯籠の設置や点灯などに延べ37名の社員が参加し、当地区に息づく和の文化・魅力を引き出しました。

点灯作業の様子



チカラ自慢が被災地の災害復旧をお手伝い!

九州北部豪雨で被災した、うきは市の棚田を復旧させるため、社内のチカラ自慢(ラグビー部・柔道部・相撲部)を集めて、棚田へ流れ込んだ土砂かき出しのボランティア活動を行いました。

チカラ自慢が「日頃の練習とは違った動き」と汗びっしょりで取り組んだ成果もあり、稲作ができる状態に回復。地主さんから「半ばあきらめていたところに、気持ちの優しい力持ちの皆さんが集まってくれました。元に戻った田んぼでの新たな収穫が楽しみです。」と嬉しい言葉もいただきました。

これからも、当社のノウハウや知見の提供だけでなく、ボランティア活動も通じたまちづくりに貢献していきます。



しのぎまさひろ
技術本部 火力・技術グループ 篠崎 正弘

社員の思い



環境保全の推進

設備形成や運用など事業活動に伴い環境に負荷を与えている電気事業者としての社会的責任を果たすため、低炭素社会づくりをテーマとする地域プロジェクトへの参画や地域との協働による「九州ふるさとの森づくり」

●九州ふるさとの森づくり

「九州ふるさとの森づくり」は、2001年度から取り組んでいる植樹や育林活動*であり、低炭素社会の実現や生物多様性の保全を目的として九州各地で展開しています。2014年度は、約3,600名の皆さまのご協力により、9か所でボランティアによる育林活動などを実施しました。

これまでの14年間でおよそ117万本を植樹し、延べ約15万人の方々にご参加いただきました。

▼14年間の活動実績

| | |
|-------|---------|
| 実施箇所数 | 延べ637か所 |
| 植樹本数 | 約117万本 |
| 参加者数 | 延べ約15万人 |

※植樹した苗木の成長を助けるため、植樹後3年程度、苗木の周りの下草刈を地域の皆さまと一緒にやって行う活動。

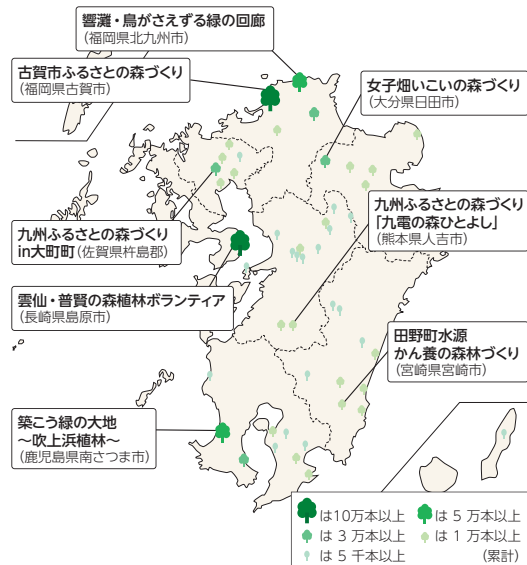
▼活動実績(2014年度)

| 地区 | 計画名 | 参加者数(人) |
|------|---|---------|
| 植樹活動 | 北九州 響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第10回植樹会 | 1,540 |
| | 福岡 森と海の再生交流事業植樹祭 | 220 |
| 育林活動 | 佐賀 「ふるさとの森づくりin大町町」育樹作業 | 190 |
| | その他 「古賀市ふるさとの森づくり(福岡)」など、九州各地6か所で下草刈を実施 | 1,670 |
| 合計 | 9か所 (植樹2か所、育林活動7か所) | 3,620 |

※当社からは苗木提供せず、社員によるボランティア参加のみ。

など、地域環境の保全に資する取組みを展開しています(P45「環境にやさしい企業活動『社会との協調』」をご覧ください)。

▼これまでの主な植樹箇所



森と海の再生交流事業植樹祭(福岡)

ホームページ

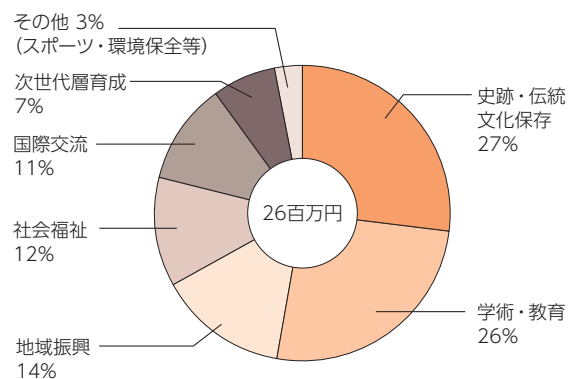
企業・IR情報⇒会社情報・CSR⇒環境への取組み⇒九州ふるさとの森づくり

寄附を通じた地域・社会への貢献

九州全域を事業エリアとし、九州の皆さまをお客さまとする当社は、「地域と共に歩み、共に生きる」という考え方のもと、地域社会の発展につながる社会貢献活動の一つとして、一企業市民としての適正な寄附活動を行っています。

| | | |
|-------------------------|----------------------------|----------------|
| 2014年度 寄附総額 91百万円 | 電気事業に資する 大学講座への寄附 | 36百万円 (39%) |
| | 自治体条例に定める 救済事業への拠出 | 29百万円 (32%) |
| | 地域・社会共生活動 としての寄附(詳細は右表) | 26百万円 (29%) |

▼地域・社会共生活動としての寄附内訳



地域に密着した共生活動の推進

地域社会の一員としての役割を果たすとともに、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めていくため、地域行事への積極的な参加や、コミュニティの安全・安心の取組みを行っています。

地域のまつりへの参加

地域活性化の一環として、また、地域の皆さまとの絆を深めるため、各事業所やグループ会社の社員が地域のまつりへの参加・運営を行っています。

▼2014年度 まつり参加実績

参加者数(社員)：延べ約1,840名

地域のスポーツ大会への支援

地域におけるスポーツ活動の活性化及びレベルの向上を図り、明るく健康的な地域社会の形成を目指して、青少年を対象としたスポーツ大会等の支援を行っています。

▼2014年度 スポーツ大会支援実績

24事業所、37大会、18種目、参加約11,000名

地域課題の解決に向けた取組み

● 独り暮らしの高齢者のお宅等への配線診断

九州各地において、地域の社会福祉協議会や電気工事事業協同組合、教育委員会等の皆さまとの協働により、重要文化財や独り暮らしの高齢者の方の配線診断を実施しています。



配線診断(対馬営業所)

● 地域の清掃活動

九州各地において、高所作業車を使って、城壁や神社の鳥居、地域の街路灯など、普段は手の届かない場所の清掃活動を行っています。



地域の街路灯清掃(武雄営業所)

● 地域見守り活動

地域に密着した事業形態を活かし、自治体・関係団体との協定や覚書等を締結して、76のネットワークに参画し、地域の見守り活動や防犯活動への協力を行っています。

2014年度は、高齢者等の見守り活動において、九州全域で28件の通報を行いました。

● 「子ども110番」活動への協力

「子ども110番」活動への協力など、子どもが犯罪に巻き込まれない環境づくりを九州全域で実施しています。



のぼり



子ども110番ステッカーを貼付した車両

● 不法投棄パトロール

業務用車両での移動中などに廃棄物の不法投棄を発見した場合、自治体へ情報提供を行う「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を22事業所で、延べ47の地元自治体と締結し、環境美化の保全に協力しています。

グループ会社における地域・社会共生活動

グループ会社における取組み

九州電力グループでは、グループ一体となった社会貢献活動に取り組んでいます。毎年、書損じ・未使用ハガキ、使用済切手、外貨(コイン)を収集する「収集ボランティア」を実施しており、地域のNPOやボランティア団体など、地域・社会の課題解決に取り組む団体へ収集物を寄附しています。また、寄附した団体との協働によるボランティア活動も展開し、地域の課題解決に取り組んでいます。

収集物寄附先(2014年度)

〔書損じ・未使用ハガキ〕

- 収集枚数 … 6,166枚(約279,300円相当)
- 寄附先 … NPO法人 よか隊

〔使用済切手〕

- 収集量 … 約52kg(約26,000円相当)
- 寄附先 … NPO法人 改革プロジェクト

〔外貨(コイン)〕

- 収集額 … 約85,200円相当
- 寄附先 … 公益財団法人 日本ユニセフ

NPO法人「よか隊」との農作業ボランティア(福岡県糟屋郡)

2014年5～9月、NPO法人「よか隊」との協働による農作業ボランティアを行い、延べ63名が参加しました。

NPO法人「よか隊」は、障がい者の自立支援と雇用促進の積極的な取組みをはじめ、福祉・環境・農業をつなぐ活動を展開しています。

参加者は、畑のうね作りや草取り、植ええを中心に作業を行ったほか、家族で参加した子どもたちは季節の野菜などを収穫しました。

日頃体験できない農作業をみんなで楽しむことができ、「また参加したい」といった感想をいただきました。



畑のうね作り

TOPICS >>> 「スペシャルオリンピックス2014福岡」ボランティア(福岡県糟屋郡ほか)

「スペシャルオリンピックス」は、知的障がいのあるアスリートに、さまざまなスポーツトレーニングとその成果(競技会)の場を提供する、国際的なスポーツ組織です。その全国大会「スペシャルオリンピックス2014福岡」が2014年11月に開催され、当社グループから、延べ55名がボランティアスタッフとして参加しました。

バスケット競技が行われた「かすやドーム」(糟屋郡粕屋町)において、当社グループからのボランティアが、他企業や一般のボランティアスタッフの方々とともに、3日間にわたり、会場の受付や警備、表彰式の運営などを行いました。

また、宿泊所のグローバルアリーナ(宗像市)や玄海青年の家(北九州市)では、組

合から参加した延べ約210名のボランティアスタッフが、24時間体制で食事・入浴などのサポート、夜間の見守り警備などを行いました。



スペシャルオリンピックス バスケットボールの試合



モップがけ

TOPICS >>> 「あんずの里運動公園」への植樹と急速充電器設置 ～(株)キューヘン～

(株)キューヘンでは、創立55周年を記念し、「あんずの里運動公園」(福岡県福津市)にて、植樹活動を行いました。

2015年2月、快晴の空の下、従業員とその家族、OBなどおよそ170名で、今までお世話になった地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、ツツジ2,000本とアジサイ250本を植樹しました。また、この日は、同社が開発した電気自動車(EV)用の急速充電器を、公園内の駐車場に設置しました。

今回植樹を行った「あんずの里運動公園」は、約2,500本の薄桃色のあんずの花が咲く名所で、3月が見頃です。春か

ら夏への季節の移り変わりを花で感じていただくことで、長く親しんでいただければ幸いです。



植樹活動



急速充電器開設式

TOPICS >>> 小規模集落応援隊として集落の暮らしを守っています ～九州林産(株)～

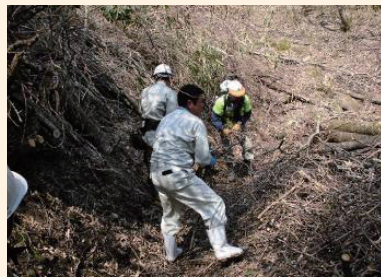
九州林産(株)では、2009年から大分県が取り組んでいる「小規模集落応援隊」に参加しています。この活動は、高齢化や過疎化による人手不足でお困りの小規模な集落の草刈り、水路清掃、道路補修などをお手伝いする活動です。

2014年度は、由布市奥江地区において地元の皆さま、地元企業及びNPOの方々と一緒に、用水路の整備や倒木伐倒などの作業を行いました。

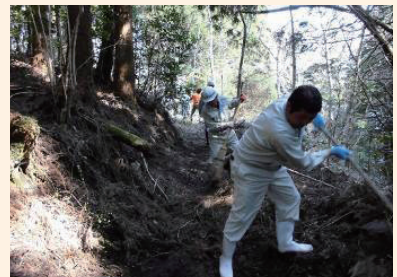
この活動を通じて、地域の皆さまから「大変助かった」「また来てほしい」と

いった多くのお声をいただきました。また、今回の活動では、大分県知事から御礼状をいただき、改めて活動の大切さと参加する喜びを感じました。

今後も、活動を通じて、地域の皆さまとの交流がさらに深まれば、と考えています。



用水路に堆積した枯葉や倒木の除去



九州各地における地域の皆さまとのボランティア活動

当社はこれまで、地域のお祭りやスポーツ大会の運営、清掃活動への参加など、地域のニーズや課題に応じて、さまざまなボランティア活動を実施してきました。

2014年からは、ボランティア活動の領域をさらに広げるため、NPOや地域の方々と協力して取り組むボランティア活動「こらぼらQでん」を開始しました。

2014年度は九州全域で計10団体と計20回の活動を行い、延べ1,175名の方にご参加いただきました。

なお、大分支社エリアについては、坊ガツル湿原の野焼きや平治岳^{ひいじだけ}の登山道整備を行っています。詳しくは、P45「環境にやさしい企業活動」の『社会との協調』をご覧ください。

名称とロゴマーク



「こらぼら」とは、「コラボレーション」と「ボランティア」を掛け合わせた造語です。

ロゴマークは、左から「コラボ」の「C」、「ボランティア」の「V」、九州電力の「Q」を表し、2つの笑顔を繋げました。

ボランティアに取り組む温かい気持ちや地域の皆さまとのつながり、親しみやすさを表しています。

どんぐりからの苗づくり「どんぐりポッケ」

～こらぼらQでん×NPO法人 北九州ビオトープ・ネットワーク研究会～

2014年11月に響灘グリーンパーク（北九州市若松区）において、どんぐりの苗ポットづくりボランティア「どんぐりポッケ」を開催しました。

この取組みは、地元NPOや北九州市などと協働し、どんぐりから植樹のための苗木を育てる取組みとして開催したものです。今後、約2年をかけて苗木を育て、北九州市が毎年響灘で行っている「鳥がさえずる緑の回廊づくり植樹祭」にて植樹する予定です。



北九州



社員とその家族が拾ったどんぐりを、新小倉発電所の自然の中で試験的に育苗中。どんぐりの苗は順調に育っています!!

森のめぐみを感じながらのボランティア

～こらぼらQでん×NPO法人 グリーンシティ福岡～

2014年11月に志賀島（福岡市東区）で「森のめぐみワークショップ」を開催し、地域の方々や当社社員など約50名が参加しました。

落ち葉や枯れ枝で覆われた道路の清掃や、外来植物の駆除など環境保全活動を行うとともに、剪定した枝や間伐材を使ったクラフト体験として、「森のえんぴつ」と「森のこくばん」作りを行いました。

このワークショップは、2015年2月にも開催し、環境保全活動とたき火ワークショップを行いました。



福岡



ただの“木”だった枝などが、自分の手で「えんぴつ」や「こくばん」に変わり、子どもたちの顔が生き生きとしていました。

唐津の白砂青松を守るボランティア

～こらぼらQでん×NPO法人 唐津環境防災推進機構KANNE～

日本三大松原の一つ「虹の松原」（佐賀県唐津市）は、国の特別名勝などに指定される、玄界灘に面した広大な松原です。この貴重な松原を守るため、2015年3月に虹の松原の再生・保全ボランティアを行いました。

松の生育を阻害する草が生えるのを防ぐため、松葉かきなどを、当社社員やその家族、地元の方々や唐津南高校の生徒さんなど、総勢約200名で行いました。



佐賀



蓄積した松葉を放置すると腐葉土化し、雑草などが生え、松原の衰退につながります。松葉かきや除草などで虹の松原を守ります。

街を花でいっぱい

～こらぼらQでん×NPO法人 道守長崎～

2014年12月、長崎市で「花いっぱい&X'masストリートプロジェクト」を開催し、地元商店街の方々や子どもたち、当社社員など70名が花壇づくりやチャリティーイベントなどを行いました。

長崎街道入口の馬町交差点では500株の花を植えたほか、近隣教会の聖歌隊によるコーラスをバックにクリスマスツリーの飾り付けや点灯式を行うなど、和やかな雰囲気のイベントとなりました。



長崎



クリスマスツリーの飾りつけや点灯式では、子どもたちはにこやかな表情に。

子どもたちに自然とのふれあいの場を

～こらぼらQでん×公益財団法人 熊本YMCA～

熊本県阿蘇市の阿蘇キャンプ場と的ヶ石キャンプ場で、2015年3月にブルーベリーの植樹やハーブの花壇づくりなどを行いました。

熊本YMCAの会員や地域の方々、当社社員など約100名が参加。子どもたちは穴を掘ったり、苗木に添え木をしたりと、泥まみれになりながら一生懸命頑張っていました。作業の後にはパンやピザ作りも行い、みんなで交流しながら楽しいひと時を過ごしました。

記念樹としてみんなで植えた、桜の成長も楽しみです。



熊本



植樹後にはパンやピザ作りのほか、豚汁やバーベキューも振る舞われ、参加者の交流の場となりました。

素敵なテラスが完成

～こらぼらQでん×綾中学校×NPO法人みんなのくらしターミナル～

綾中学校（宮崎県東諸県郡）の中庭を、誰もが集える場にする「綾中学校中庭テラス化プロジェクト」に、2014年12月から3回にわたって取り組みました。

完成したテラスは、同校のグランドオープン記念式典で披露され、校長先生から「九電さんとご縁で立ち上がったプロジェクト。地域の皆さまに普段から集っていただき、子どもたちと語り、ふれあっていただけるテラスにしていきたい」とご紹介いただきました。



宮崎



当社グループが保有する電線ドラムやダム流木などを再利用し、テーブルやベンチなどを製作しました。

芝桜で公園を明るく、地域のいこいの場に

～こらぼらQでん×NPO法人 小さな絆～

2015年3月、真砂本町公園（鹿児島市）で芝桜の植付けなどのメンテナンス活動を行いました。

NPOや地元町内会の皆さま、当社社員やその家族など71名が参加。3回にわたり土の掘起こしから芝桜の植付けまで行い、花壇は見違えるほど鮮やかになりました。

NPOや町内会の方々から「九電さんに親しみを感じた」と大変うれしいお言葉をいただき、非常に有意義な活動となりました。



鹿児島



花壇は鮮やかになり、見ごろを迎えた芝桜が公園を明るく盛り上げてくれました。

TOPICS >>> NPO 法人まるとの協働によるこらぼらQ でんバッジ募金

NPO 法人まるとは、「障がいのある方もそうでない方も一緒に暮らしていける社会」を目指し、障がい者の生活介護サービスや就労継続支援、自立訓練事業などを展開されています。特に福祉作業所の「工房まると」では、楽しみに創作活動が行われており、その絵画や陶器などは高く評価されています。

今回、同法人の活動を支援するため、福岡や鹿児島を拠点とする社員を中心に募金を募ったところ、約2,000名の社員から募金が集まりました。募金してくれた社員には、その御礼として、同法人がデザインした当社とのコラボバッジ(6種類)の中から、好みのデザインを選んでもらい、募金1口につき1つプレゼントしました。

寄附した募金は、グループホームの開設資金や陶芸室の拡充などに充てられるとのことで、障がいのある方の就労支援に役立てていただく予定です。

▼募金の受贈式



デザインしていただいた6種類のコラボバッジ▼



従業員が行う共生活動への支援

従業員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう、ボランティア休暇制度(年間7日間)や活動費用補助、社内掲示板での情報提供などの環境づくりを行っています。

これらの制度を活用して、2014年度は延べ約6万人の従業員がボランティア活動に参加しました。

また、これまで長期間にわたる地道な地域社会貢献活動を表彰してきた「地域社会貢献者表彰制度」は、2015年度から、短期間の多種多様なボランティア活動も表彰対象に加えています。

▼ボランティア休暇制度・地域社会貢献者表彰実績

| 年度 | 2012 | 2013 | 2014 |
|-----------------|-------|------|-------|
| ボランティア休暇取得実績(日) | 182.5 | 146 | 258.5 |
| 地域社会貢献者表彰(人) | 38 | 19 | 16 |

TOPICS >>> 地域社会貢献者表彰「社長賞」を表彰

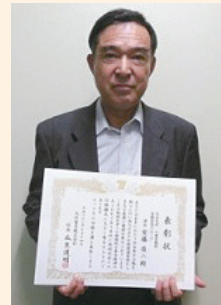
2014年度は、14年間にわたり、環境保全に関わるさまざまな団体で自然保護活動などに取り組むとともに、次世代層に山や自然の魅力を伝えるなど、積極的な地域貢献活動に取り組む大分支社の安藤さんを表彰しました。

登山などでお世話になっている山や自然に少しでもお返しができるかという思いで、1999年に国立公園のボランティア研修を受講。その後、研修を受講したメンバーで「阿蘇くじゅう国立公園久住地区パークボランティア」を結成、登山道整備や外来種駆除・調査、自然観察会などの活動を行ってきました。今ではネイチャーガイドも務めるなど、自然の素晴らしさを伝え、自然を愛する意識も醸成しています。

また、2014年からは、大分県から「森の先生」として任命され、学校や幼稚園等に出向いて、自然環境学習なども実施しています。



自然観察会での安藤さん



大分の美しい自然は、いつまでも子どもたちに残してあげたい貴重な自然ですし、多くの方に楽しんでほしいです。体が動く限りは、活動を続けていきたいです。自然も子どもも大好きですので、少しでも多くの子どものために、自然の素晴らしさや楽しさを伝えていきたいです。

TOPICS >>> 皆さんの“Good Jog!”応援しました! ～福岡マラソンボランティア～

2014年11月、記念すべき第1回目となる「福岡マラソン2014」が開催され、福岡支社エリアから約40名がボランティアスタッフとして参加しました。

当社が受け持った地点は33km過ぎの給水所です。誰もがペースが落ちてしまう、いわゆる「30kmの壁」に立ち向かうランナーを後押しすべく、地元の高校生などを含め、総勢およそ100名でランナーを迎えました。

沿道には近隣に住む方々も多く訪れ、一緒になって応援。給水や給食とともに、沿道から「ファイト!」「頑張れ!」とランナーに声援を送りました。

2015年も、1人でも多くのランナーが完走できるよう、本大会をサポートさせていただきます。



福岡マラソン給水ボランティア